

令和2年度第2回生涯学習審議会書面開催意見回答一覧

議題		1 令和2年度生涯学習関係事業報告及び令和3年度生涯学習関係事業計画について				2 令和3年度社会教育関係団体に対する補助金交付について				3 第4次鎌谷市生涯学習推進基本計画について				4 その他（学習センター等の個人利用について等）			
No.	委員名	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答
1	A委員		1、基本的に例年どおりなので問題はない。			○					1 一人の人からかなり高レベルなパブリックコメントをもらったが、おおむね高い評価をもらい、好意的なもので今後の計画に生かせるものは検討したらどうかと思う。		○		1 学習センターでも、個人については“ふれあい広場”のように個人が予約なく使用できている。学習センターの施設の個人利用について、空いている施設を使用するならばよいが、グループ・団体が使用したいのに個人が使用する、例えば、レインボーホールを数人が使用するとき、少しルールを考えるべきだと思う。	○	個人利用については、あくまでも団体利用を優先といたします。利用目的や利用人数などは団体利用と変わりませんが今後、課題を整理してまいります。
			2、しかしコロナの影響で実施されなかった予算がついている活動は返金しているのか疑問に残る。	○	コロナの影響で執行されなかった予算については、減額補正を行うなど適正に対応しております。						2 市の総合基本計画も概要版も含め良いものができたと思う。その方針とも整合性のある生涯学習推進基本計画の冊子ができるものと思う。				2 個人使用を考える人と施設関係者と話し合いが必要。	○	個人利用にあたっては、事前に周知期間を設ける予定です。
			3、予算の面で言うと体育協会へ680万円予算化したが、見直ししたい。日ハムとの交流イベントは賛成だが、143万円、軽スポーツ講師の謝礼132万円。この辺の使い方も検討した方がよい。スポーツ推進員中止、137万円、補助金43万円はどうするのか。	○	約680万円の予算は、市スポーツ協会その他、市スポーツ少年団及び市スポーツ推進委員連絡協議会の補助金の総額です。各団体は市からの補助金と合わせて、会費等を団体ごとに集めたうえで、各種事業を行っていることから継続していきたいと考えております。また、各団体への補助金については、毎年開催しているスポーツ推進審議会にお諮りしたうえで、交付手続き等を行っております。次に、北海道日本ハムファイターズとの連携事業である交流イベントや野球教室、軽スポーツについては、子どもからお年寄りまで世代や性別関係なく、誰でも参加しやすいイベントとなり、より一層参加した方が楽しかったと思えるようなイベントとなるよう、北海道日本ハムファイターズと企画の検討を行ってまいります。次に、137万円の使途について、スポーツ推進委員報酬112万円は委嘱替えの年であり、40名分の予算措置をしましたが、現在24名の在籍であるため、執行は半額程度となります。また、残りの25万円は東葛飾地区スポーツ推進委員連絡協議会負担金であり、近隣市と合同でスポーツ振興を図る上で今後も継続してまいります。												
2	B委員		緊急事態宣言での、各事業の開催中止や延期等が余儀なくされた中でも、基本となる部分についての実施を工夫しながら開催されたことは、大変なことであったと思います。今後もまた、どの様な状況になるのか先が見えません。リモートでの行事開催を増やす等、検討を重ねていかれることを希望します。			○									単発で、個人（数名の団体も含め）の利用が難しかったので、利用できるようになるのは大変な難しいことだと思います。しかしながら、何のために利用するのか（利用目的）利用人数は何人になるのか等、明記して申し込むことを徹底してほしいと思います。又、登録団体優先であることを、申込者にはしっかりと理解して頂くことも重要ではないでしょうか。	○	同上
3	C委員		コロナ禍においても、様々な工夫をしながら、活動を継続しようとされている様子が資料から見えてきました。対面・交流を大切にしている生涯学習の領域は、本当に大きな影響を受けています。行政として大変な場面も多く有ると推察いたしますが、次年度も市民の学びのために、ぜひとも頑張ってくださいねと思います。												「既存の団体利用を優先」ということであれば、全く問題ないと考えます。当然考えていらっしゃると思いますが、施設を利用する際のルール周知等は、きちんとした形で設定されるとよいと思います。二ーズも有ることですし、利用促進効果も期待できるのではないのでしょうか。		
4	D委員		コロナ下の活動は、予算の有効活用という点でも、今まで以上の創意工夫が求められると思いますし、次年度以降の将来計画を見据えての限られた状況の中での質の高い、且つ、できるだけ多くの方々の参加、普及を望んでおります。			○									内容的には、とても充実したものだと思っております。いつの時代でも、「実行」する段になりますと、中々、思うような活動、成果が伴わないものですが、今まで以上のパワーのある活動を期待したいです。	○	

議題		1 令和2年度生涯学習関係事業報告及び令和3年度生涯学習関係事業計画について				2 令和3年度社会教育関係団体に対する補助金交付について				3 第4次鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画について				4 その他（学習センター等の個人利用について等）													
No.	委員名	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答										
5	E委員	○				○				○				○													
6	F委員		1 令和2年度はコロナ禍で、様々な事業が中止され残念に思います。携わっておられる方々も大変だったことでしょう。その中で工夫をして実施した事業もあり、今後の活動に活かせると考えます。令和3年度は計画された事業が実施できることを祈っております。				「社会教育団体補助金の流れ」の資料で補助金交付の概要がわかりました。ありがとうございます。流れの中では社会教育団体の「市へ次年度要望書の提出」からスタートしていますが、本来ならば市からの「社会教育団体補助金の募集」が最初ではないでしょうか。毎年度、同じ団体への補助金交付であるので、「募集」という形でないならば、市から「社会教育団体への説明」でもよいと思います。（説明であっても大きな意味で募集としてもよい。）また、社会教育団体とは要望書の提出だけでなく、ヒアリングを行って確認するとよいと思います。実際には「要望内容を確認」と記載されているので行っているのかもしれませんが、書類での確認にも読み取れます。流れの中に「ヒアリング」を入れてほしいと考えます。生涯学習審議会が社会教育団体の補助金交付の議題の際、その団体の活動の様子や成果について説明があると補助金の意義がわかります。また、補助金とは別に市内の社会教育団体の理解にもつながります。次年度はヒアリングや実績報告書からわかる、団体の活動状況や成果を報告してください。					○			「第4次鎌ヶ谷市生涯学習推進計画」の策定、お疲れさまでした。改めて第3次の計画と比べてみると、わかりやすいつくりになっています。パブリックコメントには1名の意見ではありましたが、とても勉強になる意見でした。前回の生涯学習審議会で、策定された計画の広報についての意見がありました。市のHP掲載や冊子を作成するとのことでした。他の委員からは簡易版のリーフレットの作成要望もありましたが、第4次計画を広報するにあたって、この計画の目玉をアピールするとよいと思います。目玉は、基本理念に加えた「まちづくり」生涯学習推進基本方針の3方針「学ぶ」「つなぐ」「活かす」この点を強調し、計画のP1にある「生涯学習を推進する意義」につなげ、関心を高めていけるとよいと考えます。冊子になると全部に目を通すのは難しくなります。市の広報誌等で計画の目玉をアピールすることで第4次計画の理解につながると思います。				○			広報紙での周知の予定はございませんが、市のホームページへの掲載や市内の公民館等に配置をするなど周知を図ってまいります。また、市民だけでなく、各部署に対しても「学ぶ」「つなぐ」「活かす」の視点を大切に、それぞれの事業が市民の学びにつながることを、市民の学びが地域づくり、まちづくりの土台となることを意識して事業に取り組んでもらえるよう周知を図りながら計画を推進してまいります。					個人利用を認める自治体も増えてきている現状の中、個人利用の検討を行うっていくことはよいと思います。
			2 生涯学習推進課「家庭教育支援事業」家庭の日啓発事業について 令和2年度は「県等からの啓発ポスター等の提供がなかったため未実施」とありますが、ポスターの提供や予算がなくても啓発活動は可能です。令和3年度に「ポスターの掲示による啓発活動」と事業の内容に記載されていますが「ポスター等による」と幅を広げておけば提供されるポスターを待つ、受身的な事業でなくなると思います。	○											○												
7	G委員		生涯学習関係事業計画において、現在推進している講座は有意義な講座が多いと思いますが、求めているものが時代によって変わってきていると思います。市民の声を聞きやすくなることにより（市役所、図書館でアンケート）新しい時代に合った講座開設が望まれます。コロナ禍により、人々の考え方や、求め方、学び方が大きく変化してきていると思っています。	○			アンケートなどを通じて市民の多種多様な学習ニーズを把握するとともに、現代的課題や地域の課題の解決に向けた学習機会の充実も図っていく必要があると考えます。コロナ禍により、事業の開催が難しい状況ではありますが、出来る範囲で工夫をしながら取り組んでまいります。	○																			
8	H委員	○				○				○				○													
9	I委員	○				○				○				○													
10	J委員	○				○				○				○													

※今さらの意見で申し訳ありません。P27の「地域学校協働本部事業」の内容についてです。「学校支援地域本部事業」の時はこの内容でよいと思いますが、「地域学校協働本部事業」は地域全体で子どもの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。「地域づくり」の観点を付け加えたほうがよいと思います。今回、鎌ヶ谷市地域学校協働本部事業実行委員会の意見をまとめた際に、目が止まりました。パブリックコメント後なので訂正はむずかしいのですが…。

大変申し訳ございませんが本計画は決定いたしましたので訂正は出来かねます。地域づくりの観点の文言は入っておりますが、地域の方の参画を得て地域全体で子どもの学びや成長を支えることので、地域の教育力の向上につながるという観点を盛り込んでいることを申し添えます。

今年度リモート配信で開催をいたしました野球教室及び軽スポーツにつきましては、北海道日本ハムファイターズの現役選手の方々など多数の方のご協力をいただき、延べ170人以上の方にご参加いただきました。また、そのほかにもオンラインイベントとして、スコア教室や幼稚園訪問、応援メッセージなど合わせて45回開催し、14万人以上の方々にご参加いただきました。今後も、子どもからお年寄りまで世代や性別関係なく、誰でも参加しやすく、そしてより一層、参加する方々が楽しかったと思えるようなイベントを北海道日本ハムファイターズと共に、検討してまいります。

ご意見のとおり、学びと活動の循環を推進していくことが大きな課題です。様々な主体をつなぐ地域づくりコーディネーターの活用や様々な主体との連携・協力による活動場所の拡充、地域活動やボランティア活動などの情報発信・情報提供の充実を図り、次のステップにつなげていくことが必要と認識しております。

議題		1 令和2年度生涯学習関係事業報告及び令和3年度生涯学習関係事業計画について				2 令和3年度社会教育関係団体に対する補助金交付について				3 第4次鎌ヶ谷市生涯学習推進基本計画について				4 その他（学習センター等の個人利用について等）				
No.	委員名	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	意見なし	意見	回答の要	回答	
11	K委員	○				○				○	本件に関して、パブリックコメントが一人だけだったように市民の関心が薄いみたいで、大変残念ですね。 パブリックコメントの意見でも述べられているように、「生涯学習」という文言が何か特別な人（障がい者やお年寄り等）のためのものとみられているのかもしれないですね。人が普通に暮らしていく上において、それぞれ課題は違えども何らかの知識を得ながら生きていくことから、この基本計画が、常に市民一人ひとりに寄り添い、生きることへの手助けとなるための施策として、そして素晴らしいこの計画が埋もれてしまわないためにも、今後、本計画の目的や主旨などについて、分かり易い言葉でより広く市民へのPR活動が必要ではないでしょうか。	○	生涯学習とは、人生の後半にスポットを当てられがちですが、生涯という言葉からも人が一生に行うあらゆる学習のことです。日々の生活の中での学びが生涯学習であるということも、もっと発信していくことも必要だと感じています。計画は市民と行政が同じ方向を向いて活動を進めていくためのものです。本計画の目的や趣旨が皆様に伝わるよう各種事業に取り組んでまいります。	○				
12	L委員		コロナの為、事業中止、または変更等が有り、それぞれの団体も大変だったと推察されます。			○					基本計画がスムーズに進む社会情勢になってくれるように願います。				市民の個人の方々も気軽に使用できる場所でもよいのではと思う。			
13	M委員	○				○				○				○				
14	N委員		郷土資料館の講座、セミナー、講演会は、オンラインも活用しながら開催していくと、市民のITリテラシーの向上、IT知識の習得にも役立つと思います。特に歴史については旧教育内容と現教育内容の差（例えば、現教育では1192鎌倉とは教えない。）があることから、「学び直しの場」を提供することは有意義だと思います。	○	オンライン開催については、今後、講演会等で有効な手段の一つとして検討してまいりたいと考えております。 また、テーマや内容については、市民の皆様の間や、新たな発見につながるものを選定してまいります。		各団体に対して、今後、対象事業ごとの明細を求め、それを補助金の根拠としていく必要があると思います。	○	補助金の実績報告の際、事業ごとの明細を提出書類としております。	○				○				